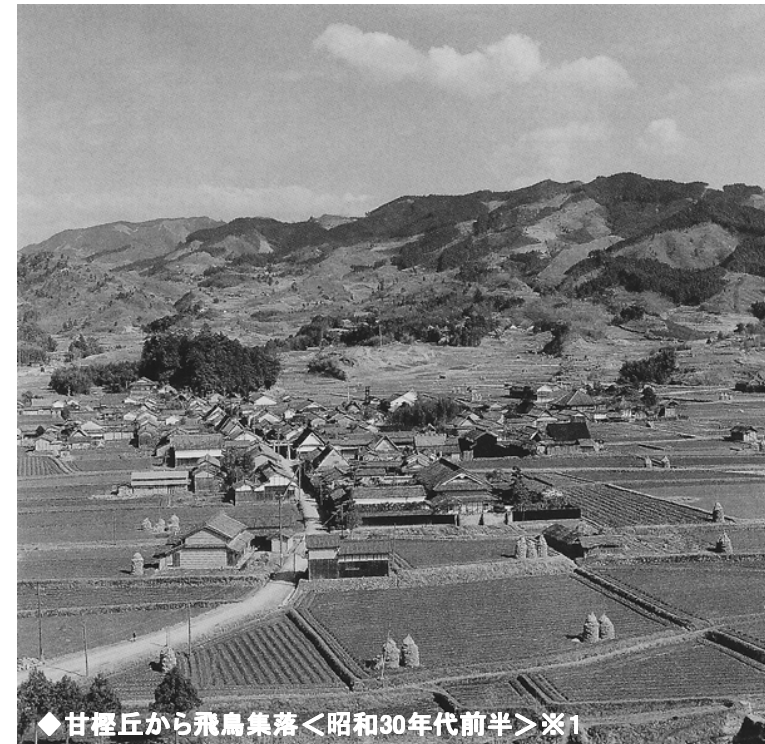


1 飛鳥宮跡における景観

b. 昭和20~30年代の写真との比較

- 現在も残されている（守られてきた）景観、風景
 - 景観の骨格となっている山地・丘陵、青垣の山並み
 - 平地から山裾にかけて連続する、農地・集落・里山の景観
 - 写真家が撮影した場所は、誰もが大切にしたい風景や町並み



※1 入江泰吉「昭和の奈良大和路 昭和20~30年代」光村推古書院2011

1 飛鳥宮跡における景観



◆川原寺付近<昭和30年代前半>※1



◆甘樫丘から畝傍山<昭和30年代前半>※1



◆真神原から甘樫丘<年代不明>※2



※1 入江泰吉「昭和の奈良大和路 昭和20～30年代」光村推古書院2011
 ※2 吉村他「飛鳥の道」淡交新社1964

1 飛鳥宮跡における景観

(2)飛鳥宮跡における景観の現況

a. 飛鳥宮跡内部からの景観

- 明日香村の歴史的風土景観の主要な構成要素
 - ・ 宮跡北側に広がる農地の景観
 - ・ 農地越しに見える山地・丘陵
- ※ 吉野川分水のフェンスが違和感を与えている

